



▲子供の医療費無料化は子育て支援策です

子どもの医療費の無料化を

答弁 = 慎重に検討したい

子どもは、病気にかかりやすく、重症化することも多い。「お金の心配なく病院に連れていきたい」という親の願いは切実です。進んだ自治体では、中学校卒業まで医療費は無料という市町もあります。子育て支援、少子化対策のため中学校3年まで医療費の助成を。

答弁Ⅱ 高橋理事

本町では、平成17年度の7月から県の福祉医療助成制度を基本として、町独自の助成として、所得制限を設けているが3歳未満児までを無料とする制度に変更し、医療費の負担軽減を行なっています。障害者や高齢者などの均衡や受益と負担の公平性、財政負担などの課題は、慎重に検討を重ねていきます。



日本共産党

中西 美保子

国の増税対策は

全国では、今年6月に課税の通知を受け、「年金など所得が減っているのになぜ増税か」など抗議や問い合わせが税担当課に殺到しています。

高齢者控除の廃止、公的年金控除の縮小、定率減税の半減、住民税非課税措置の廃止などで増税になり、その影響で各種制度の個人負担が増えています。当町の状況と今後の施策にどのように反映させていくのか。

答弁Ⅲ 山下理事

諸施策に反映について

主に退職減免、税額についての問い合わせが多くありました。今後とも皆様にご納得頂いた貴重な税を町政運営の財源としていくことに改

今年、4月から介護認定軽度の高齢者は、車椅子やベッドなど12種類の福祉用具の貸与が制度からなくなり利用出来ません。「購入したら高額で困る」などの声を聞きます。厚生労働省から「福祉用具を一律的に回収しないように」と連絡文書が送られています。当町の対応は。

答弁Ⅳ 高橋理事

調査結果の判断で給付

ケアマネージャーから制度改正について利用者から十分説明を行い、自費での契約の交渉や貸与中止など今後の利用について話し合い、「今のところ大きな問題もなく準備が進んでいる」との報告を受けています。保険者として、指定福祉用具貸与費の算定の可否の判断基準、基本調査結果に基づき給付を判断します。



▲ウォーターフロント計画の見直しが必要では

不要不急の公共事業凍結を

答弁 = 優先順位をつけ慎重に検討

町長の考え方の基本が「一人に優しい街づくり」を。また、公共事業は時代に合った展開と、財政負担や住民ニーズ、公共の必要性の再検討をすると表明された。住民の暮らしは、高齢者への増税と国保料、介護保険料が値上げされ、10月から医療改善が実施されます。このような背景から二つの事業の再検討を求めます。①「はりま文化ゾーン総合整備構想」は野添北公園、であい公園、大中遺跡公園、城池周辺のDゾーンで構成されているが、住民ニーズや財政負担からDゾーンの整備は見直すべきでは。また、現在までの事業費と計画はどのように予想しているのでしょうか。②「ウォーターフロント計画」は、臨海部の活性化と住民と海とのかかわりを視野に入れた計画です。計画段階での社会情勢と



日本共産党代表

田中 久子

は著しく変動しているので凍結すべきでは。公共事業の優先順位をどう考えるか。

答弁Ⅱ 山下理事

①Dゾーンの整備は計画策定から年数も経過し、財政負担、住民ニーズを踏まえ慎重に検討したい。これまでの総事業費は36億6500万円となっている。

②「ウォーターフロント整備計画」は、平成11年に阿閉漁港埋立地、浜田、望海公園、古宮浜緑地など住民に親しみのある公園整備と、臨海部の活性化を図る計画。他の事業の進行状況などを再検討する中で方向性を見出したい。

公共事業は時代に合った事業展開を図り、さまざまな要素を見て優先順位をつけて取り組むことが重要と考えている。

自転車駐車場の増設を

土山駅南に町立自転車駐車場が完成。しかし一時預かりを断られ、踏切を渡り北側の駐車場に預けている。駐車場の改善を求めます。①一時預かりの台数を増加してほしい。②駐車場の通路に屋根付きの改修を。③野添字石帽子の町有地に第2駐車場の設置を。

答弁Ⅲ 高橋理事

土山駅南整備で検討

①安全第一に管理し、運営している。また、管理の面から台数の増加は困難。②屋根の付加は強度の面から困難と考える。③今後、土山駅南の整備とともに検討したい。